

佳作

二人のお母さんありがとう

千葉県
多古町立久賀小学校 五年

天井 玖瑠海

私は幼稚園のころ、友達に良く

「くうちんのママは、どっちが本当のママなの？」

つて聞かれて、いつも答えに困っていました。

小学生になって、友達にはパパもママも一人ずつしかいない事に気がつき、私にも、本当のパパとママは一人ずつで、もう一人ずつのパパとママは、となりに住んでいるいとこのパパとママで、私のおじさんとおばさんだと理解することができました。

いとこ達は、ずっと私のお兄ちゃん、お姉ちゃんだと思う位、同じように育ててくれました。

本当の両親が仕事でいない時でも、もう一人のパパやママがいないよにいてくれたのでさびしくなかつたし、安心でした。

今は、ママはお母さんで、おばさんは智恵美ちゃんと呼ぶようになり、二人のちがいがわかるようになったけど、心の中では今でもママが二人いるのだと思っています。

私が病気の時は、お母さんも智恵美ちゃんも同じに心配してくれるし、がんばった時は二人共ほめてくれるけど、おこられる時だけは、ママは二人だけでいいのにつて思います。

本当のお母さんの事は大好きだけど、智恵美ちゃんはとても大切なママです。

智恵美ちゃんは、いつも私に肩もみや足のマッサージをしてほしいつて言うので、やつてあげると、本当のお母さんが、

「智恵美ちゃんのお願いはなんでも聞いてあげるのに、ママには

してくれない。」

つて言うから、

「智恵美ちゃんにはお世話になっているから。」

と答えると、

「ママだつてお世話してるのに。」

つて言われます。だから

「お母さんは、自分の子供のお世話するのはあたりまえですよ。」

つて言うけれど、本当は、智恵美ちゃんは、お母さんの何倍も太っているから、肩も足もすこくつかれるだろうし、やつてあげると百円くれるし、私と性格がにているみたいで話していてもとても楽しいので、なんでもお手伝いしたくなるのです。

私には、たくさんの事を教えてくれるお母さんと智恵美ちゃん、そして二人のお父さんがいてくれるので、とても幸せです。

うれしい事もがんばった事も、友達の数倍感じる事ができるぶんだけ、おこられる事が半分になったらもつと良いけれど、何でも二倍感じて、ずっと二人のお母さんとお父さんを大切にしたいと思います。

顔を見るとはずかしいから言えないけれど大切な二人のお母さんには、いつも心の中で、「ありがとう。二人共長生きしてね」

つて言い続けたいと思います。